



とことん
がんばります

安倍暴走政治と対決

市民のみなさんとともに
住みよい石岡市へ

日本共産党市議会議員

小松とよまさ

この4年間、市民のみなさんの切実な要望実現のために懸命に努力してきました。「東海第2原発の廃炉を求める意見書」採択、中学卒業までの医療費助成制度の実現など、市民のみなさんの世論と運動こそ市政を変える大きな力だと確信することができました。憲法9条を踏みにして戦争する国づくりをすすめ、消費税増税など市民の暮らしを破壊する安倍内閣にレッドカードを。そしてさらに住みよい石岡市をつくるために、全力をつくします。これまでに倍するお力添えをよろしくお願いいたします。

プロフィール 2011年・石岡市議会議員に初当選、総務委員、霞台厚生施設組合議会議員。総社2丁目在住。家族は妻と1男。趣味はスポーツ(柔道3段)、読書、音楽鑑賞など。

2014年10月号外 日本共産党の見解を紹介します。

発行/日本共産党石岡市委員会 連絡先/石岡市総社2-3-41
電話/090-9295-6952 ファックス/24-2608
メール tkomatsu62@yahoo.co.jp ブログ 小松とよまさ 検索

いしおか新聞

みなさんと力あわせて、実現めざします

小松とよまさの 8 つのお約束



消費税増税
許さず

2014年4月に消費税が8%に上がりましたが、市内の商店では、価格に転嫁できずに、身銭をきっているところがほとんどです。平均的な労働者で年に10万円も負担増になっています。大金持ちに応分の負担を求め、大企業の内部留保金の一部をとりくずせば、増税なしでやっていきます。

原発ゼロに

石岡市議会は2012年6月議会で「東海第2原発の廃炉を求める意見書」を採択。市民が安心して暮らせるように、再稼働を許さず、廃炉にするために共同を広げます。

東海第2原発を調査▼



国保税
引き下げ

国保税が、所得の約1割を占めるほど高すぎるために、滞納者が多くなっています。国の負担割合を元に戻すよう求めるとともに、市の黒字分と財政調整基金の活用でとりあえず1世帯1万円の引き下げをめざします。

乗合タクシー
の土日運行

土日の催しなどに気軽に参加できるようにします。

住宅リフォーム
助成制度

この制度は、市民が住宅の修繕を市内の業者に発注することを条件に、おおむね工事費の10%を10万円を上限に助成する制度です。市内経済に及ぼす波及効果は数十倍ともいわれ、全国的にも試されずみの制度です。県内では土浦市、かすみがうら市など13自治体で実施しています。

コメ農家に
市独自の補助金

2014年度からコメ生産農家への国の補助金は10アールあたり1万5千円から7千5百円に減額。その上、米価が暴落。主食と地域経済を守るため、市独自で補助金を上乘せします。

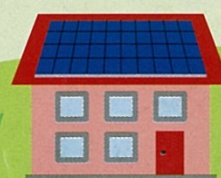
ゆきとどいた
介護保険制度に

介護保険料をおさえ、安心して安く入れる介護施設をつくります。

歴史を生かした
街づくり

石岡市の歴史、文化財、自然、人的資源の魅力を大いに発信して、にぎわいのある街をつくります。

登録有形文化財 看板建築・商家建築▼



市民のみなさんの切実な願い実現のため、これからも懸命に働きます



この4年間は、東日本大震災・原発事故からいかに市民の命と暮らしを守るかが問われていました。小松議員は、毎議会の一般質問で市民の切実な声を市政に届け、願い実現に頑張ってきました。

市民の願い届け、発言回数は最多

今期定例会の発言回数

(議員1人あたり2011年6月～2014年9月議会。議長を除く)

	一般質問	議案質疑	討論	合計
日本共産党	14	16	26	56
民主党	14	0	0	14
公明党	14	0	0	14
無所属	8.68	1.53	0.37	10.58

また、悪政から市民の暮らしを守るために、徹底して議案質疑をおこない、市民の負担増など不利益になることに一貫して反対をおこなっているのは日本共産党の小松議員だけです。

よく調査、

解決策を研究し、 具体的提案



まず現場の声を聴き、資料を集めて研究。また「自治体学校」写真などに参加し、全国や県内自治体の優れた経験を学び、具体的に提案。

「いしおか新聞」で 必ず報告

議会活動は議会ごとに「いしおか新聞」でお知らせし、議会報告会も開いてきました。さらには活動報告「こんにちは」を発行し、早朝駅頭宣伝にも取り組んできました。ブログも発信し、「市政のことがよくわかる」と好評です。



今期、小松議員の活動を通じて実現に寄与した主なもの

- ★災害見舞金1世帯1万円を
実現
- ★防災無線実現(二〇一五年度)
- ★「東海第2原発の廃炉を求め
る意見書」採択
- ★風疹予防接種助成制度実現
- ★放射能汚染対策室の設置
- ★太陽光発電システム助成制
度実現
- ★中学卒業まで医療費助成制
度実現
- ★石岡駅にエレベーターの設
置(二〇一五年夏)
- ★議会傍聴者に資料配布
- ★国府公園、宮下児童公園、上
池公園などの整備
- ★県道石岡つくば線の改修
(マンホール調整)



子どもたちから 元気もらって



自宅前での交通安全指導(立哨)をこの5年間続けてきました。第1回目ときは、石岡小学校の入学式の時だったと思いますが、女性教師が「わたしたちも子どもから元気をもらっているんですよ。よろしくお願いします」といって、「横断中」の黄色い旗を渡してくれました。いまもその旗を大事に使っています。

反戦平和が私の原点

小松とよまさ



▲左端が私(実家の前で)

私は、新しい憲法が施行されて半年後の1947年11月、福島県桑折町で農家の5人兄弟の次男として生まれました。戦前は小作農、戦後は農地解放でようやく自作農となりましたが、この時代、みんな生きるのに必死でした。福島大学で経済学を学びましたが、当時は学園民主化、70年安保、ベトナム反戦などで社会全体が騒然としていました。アメリカの爆撃機が日本から飛び立って、ベトナムの民衆をナパーム弾などで殺傷している映像が毎日のように報道され、私はいてもたってもいられず、講義や柔道の練習が終わるとデモに駆けつけました。そのたまたかのなかで20歳のときに日本共産党に入りました。戦前から反戦平和の旗を一貫してかかげ不屈にたたかってきたのが日本共産党だからです。以来47年の歳月が流れました。

大学卒業後、東京製綱(株)土浦工場で働きました。26歳のときに会社を退職し、党活動に専念。30歳のとき、小松美代子と結婚し、石岡市に住むようになりました。衆院、参院と国政にも挑戦し、国会議員団県事務所長として活動しました。

市議会議員として4年がたとうとしています。これからも初心を忘れず、これまでの経験を生かし、活動してまいります。

がんばれ

小松さん

◆生活に密着した問題を取り組んでくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。

◆平成ファシズムにストップをかけるべく、共産党に期待しています。

◆常に市民のため、研修などを積み重ね、ご努力に頭が下がります。

石岡中学校区
60代・女性

府中中学校区
50代・男性

国府中学校区
70代・男性